



“よいよいまちへ”あなたの声が古賀市に届きます！

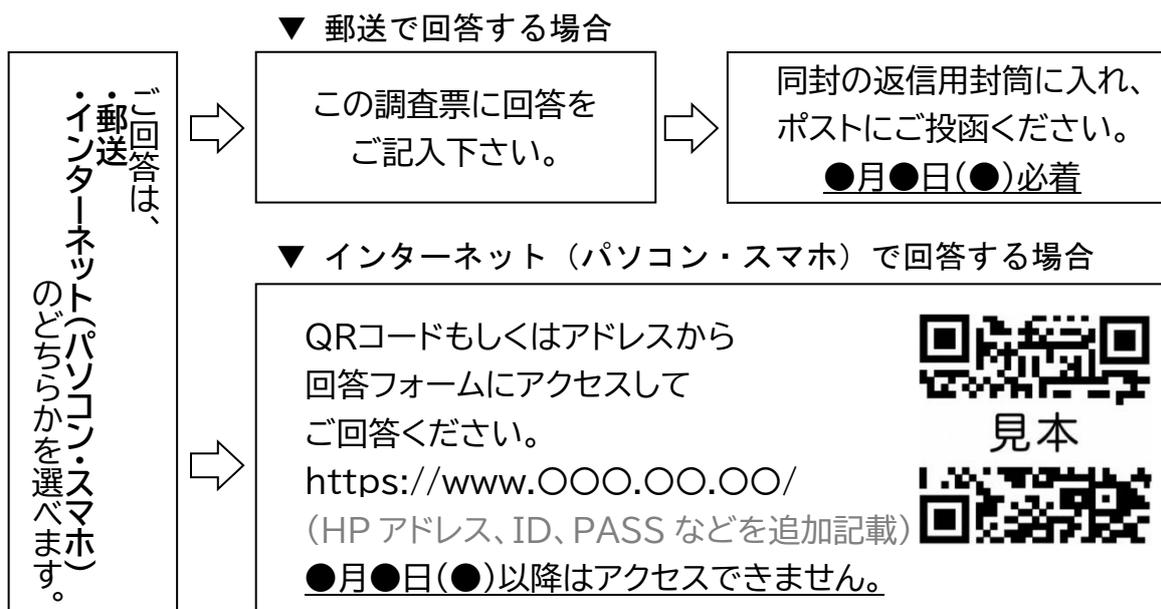
～環境基本計画 次期計画策定のための事業者アンケート～

○ 事業者アンケート調査へのご協力をお願い ○

日ごろより古賀市の環境行政にご協力いただき、ありがとうございます。

- この調査は、市内事業者の皆さまが環境について日ごろ感じていることや、実際に取り組んでいることをお聞きすることを目的としています。
- いただいたご意見は、古賀市の環境づくり（第3次環境基本計画の策定）に活かします。
- 回答に要する時間の目安は15～20分程度です。

より住みよく魅力的な古賀市にしていくため、20分間のご協力をお願いします！



本アンケートは、古賀市の事業所のうち、無作為に抽出した 100 社を対象としています。ご回答いただいたアンケート結果は、統計的に処理・分析し、次期計画を策定する上での参考データとさせていただきます。他の目的には使用しません。

【問合せ先】古賀市 環境課 【担当】市川・村山

〒811-3192 福岡県古賀市駅東 1-1-1

TEL：092-942-1127 FAX：092-942-1291

環境保全に対する取組方針について

- 企業の環境に対する取組意識を確認し、今後も定期的に変化を確認する。
(計画に掲載するかは要検討)
(前は環境保全に関する意識を聞いていたが、内容を調整)

問2. 貴事業所では、企業の環境への取り組みと企業活動のあり方についてどう思われていますか。
(1つ選び番号に○をつける)

1. ビジネスチャンスととらえて取り組むべきである
2. 社会貢献の1つである
3. 他の企業も同様であれば環境保全に取り組まざるをえない
4. 法規制等をクリアするレベルでよい
5. 環境への取り組みを実施する考えはない
6. その他 ()

- 前回と同一の設問。変化を確認する。

問3. 貴事業所では、どのような体制で環境問題に取り組まれていますか。
(1つ選び番号に○をつける)

1. 専任部署を設置している
2. 専任部署はないが、環境問題専門の担当者がある
3. 専任部署はないが、他業務と兼任で環境問題を担当する者がいる
4. 特に担当者はいないが、必要に応じて体制を組む
5. 普段から環境に配慮しているが、特に担当者や体制などを置いていない
6. 環境問題に対して特に何もしていない

・前回と同一の設問。変化を確認する。

問4. 貴事業所では、環境に関する経営方針、具体的目標や行動計画などを作成していますか。また、今後どのようにする予定ですか。

(該当する番号を1つ選び○をつける)

項目	作成している	近々作成する予定	作成することを検討中	作成する予定はない
1. 組織または経営者が定め、文書にした環境配慮に関する経営方針	1	2	3	4
2. 環境配慮に関する具体的な目標や行動計画等を文書にしたもの	1	2	3	4
3. 環境保全のための取組状況を定期的に点検・監査した結果をとりまとめた報告書	1	2	3	4

1～3に○がある場合
問6へ進む

4にひとつ以上○がある場合、理由をお聞かせください。

問5. 貴事業所で、環境に関する経営方針、具体的目標、具体的行動計画、点検・監査結果の報告書を作成していない理由はなんですか。

(該当する番号を1つ選び○をつける)

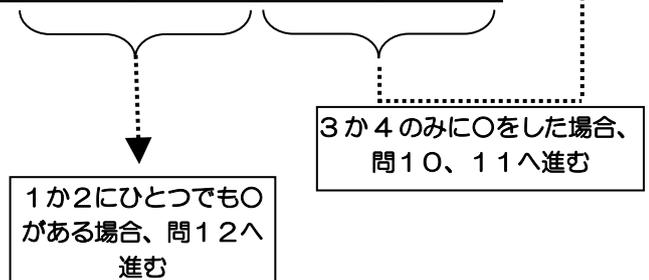
項目	必要性がない	作成の仕方がよくわからない	自社だけが実施するのは不公平である	実施しても何の役に立たない	実施しても消費者が評価してくれない	その他(具体的に)
1. 組織または経営者が定め、文書にした環境配慮に関する経営方針	1	2	3	4	5	6()
2. 環境配慮に関する具体的な目標や行動計画等を文書にしたもの	1	2	3	4	5	6()
3. 環境保全のための取組状況を定期的に点検・監査した結果をとりまとめた報告書	1	2	3	4	5	6()

- ・前回と同一の設問。変化を確認する。
- ・今後の事業者向け施策の検討に活用

環境マネジメントシステムについて

問9. 事業者が自主的環境保全への取組を継続的に進めていくための仕組みとして「環境マネジメントシステム」があります。貴事業所の環境マネジメントシステムについての取組、今後の予定をお聞きします。(該当する番号を1つ選び○をつける)

項目	既に実施している	実施する予定である	実施の予定はない	よく知らない
1. ISO14001※1 規格取得	1	2	3	4
2. エコアクション21※2 認証・登録	1	2	3	4
3. 上記以外のシステム (具体的に：)	1	2	3	4



※1 ISO14001 :

環境マネジメントシステムとは、「事業所ごとに環境保全に関する方針を作成し、実施し、達成し、見直しかつ維持するための組織の体制、計画活動を含むシステム」のことで、これを規格化したものがISO(国際標準化機構)の環境マネジメント規格ISO14001です。

※2 エコアクション21 :

環境省ではISO14001より実施が簡単な環境マネジメントの方法として、「エコアクション21(環境活動評価プログラム)」の普及を進めています。

エコアクション21は、環境とエネルギーのマネジメントシステム、環境パフォーマンス評価及び環境報告を統合したものであり、エコアクション21に取り組むことで、中小事業者でも自主的・積極的な環境配慮に対する取組が展開でき、その取組結果を「環境活動レポート」として公表できるように工夫されています。

問10. 貴事業所が、環境マネジメントシステムを導入するにあたって、行政からどのような支援があればよいとお考えですか。 (1つ選び番号に○をつける)

1. 規格取得等の手続きに関する手引き書の作成・配布
2. 規格取得等に必要となる費用の補助制度
3. 環境マネジメントシステムに取り組む人材を育てるための研修会等の開催
4. 環境マネジメントシステムを導入した事業所を消費者にアピールするための認定制度
5. 他事業所の環境マネジメントへの取組動向についての情報提供
6. その他(具体的に)

()

問11. 環境マネジメントシステムを行うための行政からの支援があれば、貴事業所では取り組んでみたいとお考えですか。 (1つ選び番号に○をつける)

1. すぐに取り組みたいと思う
2. 興味があるので、内容を検討したいと思う
3. 取り組む必要はないと思う

(必要がないと思う理由をご記入下さい)

問12へ進む

- ・前回と同一の設問。変化を確認する。
- ・教育の実施状況は計画の現行計画の指標の一つ。今後も指標とすることを検討。

従業員への環境教育実施状況

問12. 貴事業所では、従業員を対象とした環境に関する教育・訓練・啓発の活動を行っていますか。
(1つ選び番号に○をつける)

1. 行っている
2. 今後行う予定である
3. 行うことについて検討中
4. 行う予定はない

問13、14へ進む

問15へ進む

問13. 従業員へどのような内容の教育・訓練・啓発を行いますか。
(該当する番号をすべて選び○をつける)

1. 社内の作業環境について
2. 事業活動と地域環境のかかわりについて
3. 事業活動と地球環境のかかわりについて
4. その他(具体的に:)

問14. 従業員への教育・訓練・啓発はどのような方法で行いますか。
(該当する番号をすべて選び○をつける)

1. 環境に関する情報等を社内報に掲載したり、社内に掲示する
2. 環境に関する独立したパンフレット等を制作して配布する
3. 研修、勉強会、新人教育などを行う
4. 社外の講演、講習会、説明会等に参加させる
5. その他(具体的に:)

問16へ進む

問15. 従業員を対象とした環境に関する教育・訓練・啓発を実施していない主な理由は何ですか。
(1つ選び番号に○をつける)

1. 必要性がない
2. どのように取り組めばよいのかわからない
3. 自社だけが実施するのは不公平である
4. 実施しても何の役に立つのかわからない
5. 実施しても消費者が評価してくれない
6. その他(具体的に:)

問16へ進む

- ・現在の事業者の行動状況を計画に掲載することを検討する。
- ・設問は前回調査から社会の変化にあわせて一部変更、統合、削除している。
- ・区域施策編において、温室効果ガスの将来推計の条件に活用することも検討。

問16. 貴事業所では、環境の保全や地球温暖化対策のための行動を実行していますか。

また、今後の取り組みへのご意向はいかがでしょう。

項目ごとの「現在」「今後」についてお答えください。

(該当する番号を1つ選び○をつける)

項目		現在				今後	
		いつも実行している	たまに実行している	実行していない	実行出来る環境にない(エアコン・車を所有していない、隣にサービスがないなど)	実行したい	実行するつもりはない
エネルギー	月々のエネルギー使用量を記録している	1	2	3	—	1	2
	エネルギー使用量（或いは削減量）の目標値を定める	1	2	3	—	1	2
	クールビズ・ウォームビズ（気候に合わせた服装）をしている	1	2	3	—	1	2
	エアコンの温度などを適切に調整している	1	2	3	4	1	2
	カーテンやブラインド等を効率的に利用して冷暖房効果を高めている	1	2	3	4	1	2
	エアコンのフィルターをこまめに掃除している	1	2	3	4	1	2
	こまめな消灯（始業前、昼休み、休憩時等）を徹底している	1	2	3	—	1	2
	既存照明を間引きして節電している	1	2	3	—	1	2
	不必要なパソコン、モニタ、コピー機等の電源はその都度切っている	1	2	3	4	1	2
	グリーン購入、エコマーク商品、再生紙利用等を促進している	1	2	3	—	1	2
	自然採光、通風をとり入れている	1	2	3	—	1	2
	雨水利用施設を設置している	1	2	3	—	1	2
	屋上緑化、壁面緑化を行っている	1	2	3	—	1	2
車	出来るだけ自動車を使わず、徒歩・自転車・公共交通機関を利用しての通勤・移動を励行している	1	2	3	4	1	2
	自動車に乗る際には、エコドライブ（急発進/急停車をしない等）を実施している	1	2	3	4	1	2

項目		現在				今後	
		いつも実行している	たまに実行している	実行していない	実行出来る環境にない(エアコン・車を所有していない、近隣にサービスがないなど)	実行したい	実行するつもりはない
ごみ・リサイクル	ごみの分別、減量を徹底している	1	2	3	—	1	2
	詰め替え可能製品を購入している	1	2	3	4	1	2
	事業所から出る資源ごみのリサイクルルートを確保している	1	2	3	—	1	2
その他の取組	環境保全を達成することを可能にする技術および商品を開発し、社会に提供している	1	2	3	4	1	2
	輸送エネルギーの少ない地元産の作物や商品を多く販売・利用している	1	2	3	4	1	2
	環境報告書を作成し、ホームページで公表している	1	2	3	—	1	2
	環境保全活動資金の支援や寄付をしている	1	2	3	—	1	2
	環境ボランティア休暇等、職員の自主的行動を支援する制度がある	1	2	3	—	1	2
	事業所周辺の美化清掃活動を行っている	1	2	3	—	1	2
	地域の祭や環境保全活動に際し、積極的に社員を派遣・参加させている	1	2	3	—	1	2

- 現在の事業所の設備導入状況を計画に掲載することを検討。
- 設問は前回調査から追加（ZEB、蓄電池、BEMS、電気自動車、燃料電池自動車等）。
- 区域施策編において、温室効果ガスの将来推計の条件等に活用。また、目標の指標とすることも検討。

地球温暖化対策に関わる設備の導入について

問17. 貴事業所では、地球温暖化対策に関わる設備を導入していますか。

(該当する番号を1つ選び○をつける)

項目	設備の説明	導入状況と今後の意向			
		すでに導入している	条件が整えば導入したい	導入する予定はない	導入出来る環境にない
1. 再エネ電気への切り替え	再生可能エネルギーの電力プランをもつ電力会社を選ぶことで、再生可能エネルギー普及に貢献する	1	2	3	4
2. 省エネ型照明の導入	LED、電球型蛍光灯、インバータ式蛍光灯等	1	2	3	4
3. 人感センサの導入	人感センサ付器具による照明の省エネ化	1	2	3	4
4. 空調の省エネシステム	外気冷房、全熱交換機等	1	2	3	4
5. 冷凍・冷蔵の省エネシステム	省エネ型ショーケース等	1	2	3	4
6. 高効率機器への更新	業務用エアコンやOA機器の、エネルギー効率の高いトップランナー適合機種への入れ替え	1	2	3	4
7. 太陽光パネルの設置	太陽の光エネルギーを直接電気に変換する発電システム	1	2	3	4
8. ZEB(ゼブ)の導入	快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物	1	2	3	4
9. 省エネリフォーム (建物の高断熱化・高気密化)	ペアガラス(二重サッシ)や壁、天井、屋根などに断熱材を入れて高断熱・高気密化を図る	1	2	3	4
10. 蓄電池の活用	貯めた電気を供給するシステム。太陽光パネルと併用して夜間の電気を節約したり、災害時に活用する	1	2	3	4
11. 高効率給湯器の設置	エコキュート、エネファーム、エコジョーズ、エコフィールなど	1	2	3	4
12. BEMSの導入	ビル・エネルギー管理システム。 ITを利用してビルの照明や空調などを制御し、最適なエネルギー管理を行うシステム	1	2	3	4
13. ハイブリッド自動車	エンジン(ガソリン)とモーター(電気)など、複数の動力で走る自動車	1	2	3	4
14. 電気自動車	電気をエネルギー源とし、電動機(電気モーター)で走行する自動車	1	2	3	4
15. 燃料電池自動車	水素と酸素から電気をつくる「燃料電池」を搭載し、モーターで走る自動車	1	2	3	4

・再エネ導入推進施策の検討にあたり、特に普及拡大を見込む「太陽光発電」「蓄電池」「電気自動車」について導入に必要な条件を問う。(前回にはない設問)

問17-1. 「7. 太陽光パネルの設置」の「2(条件を整えば導入したい)」と答えた方におたずねします。どのような条件を整えば導入したいと思いますか。
(1つ選び、番号に○をつける)

1. 設備の購入価格が安くなること
2. 公的機関(国・県・市等)の補助金が整備されること
3. 発電効率の向上などの技術が向上すること
4. 設備の導入にかかった費用の元が取れるほどの売電収入があること
5. その他()

問17-2. 「10. 蓄電池の活用」で「2(条件を整えば導入したい)」と答えた方におたずねします。どのような条件を整えば導入したいと思いますか。
(1つ選び、番号に○をつける)

1. 設備の購入価格が安くなること
2. 公的機関(国・県・市等)の補助金が整備されること
3. 蓄電効率の向上などの技術が向上すること
4. その他()

問17-3. 「14. 電気自動車」で「2(条件を整えば導入したい)」と答えた方におたずねします。どのような条件を整えば導入したいと思いますか。
(1つ選び、番号に○をつける)

1. 電気自動車の購入価格が安くなること
2. 公的機関(国・県・市等)の補助金が整備されること
3. 航続可能距離の向上などの技術が向上すること
4. その他()

- ・前回と同一の設問。変化を確認する。
- ・今後の事業者向け施策の検討に活用

行政に対する要望など

問18. 貴事業所が、環境保全の取組を行う上で、行政がどのような施策を行えばよいとお考えですか。
(該当する番号をすべて選び○をつける)

1. 情報提供
2. アドバイザーの紹介
3. 人材を育てるための研修会などの開催
4. 環境保全やグリーン購入の促進に向けた企業間、または消費者とのネットワークづくり
5. 優良事業所を消費者にアピールするための表彰・認定制度など
6. 環境へ配慮した取組を行うための助成・補助
7. その他（具体的に）

問19. 行政から提供してほしい環境保全に関する情報をお選びください。
(該当する番号をすべて選び○をつける)

1. 環境問題の現状に関する情報
2. 他企業の取組に関する情報
3. 環境関連の法・条例に関する情報
4. 国や県、市など行政の取組に関する情報
5. 環境保全のために企業ができることに関する情報
6. 環境保全のための実用的技術に関する情報
7. 環境保全のための調査・研究に関する情報
8. その他（具体的に）

